

平成24年度 台東区立台東病院及び老人保健施設千束運営評価表

施設名	台東区立台東病院・老人保健施設千束
事業開始年度	平成21年度
開設者	台東区（区所管：台東区役所健康部健康課・台東区役所福祉部高齢福祉課）
運営事業者	公益社団法人 地域医療振興協会
評価の目的	サービスの提供の効果等について、記録、測定又は分析し、一定の基準に照らして客観的に評価・検証することにより、業務・運営等を継続的に改善させる。
評価内容	○新台東病院等整備基本計画に定める基本理念を的確に反映しているか。
	○基本協定書に基づき、保健・医療・福祉機能とその役割を適切に果たしているか。
	○地域に開かれた施設になっているか。
評価項目	①役割・機能、②効率性・経済性、③計画性・改善状況等

1 事業の概要

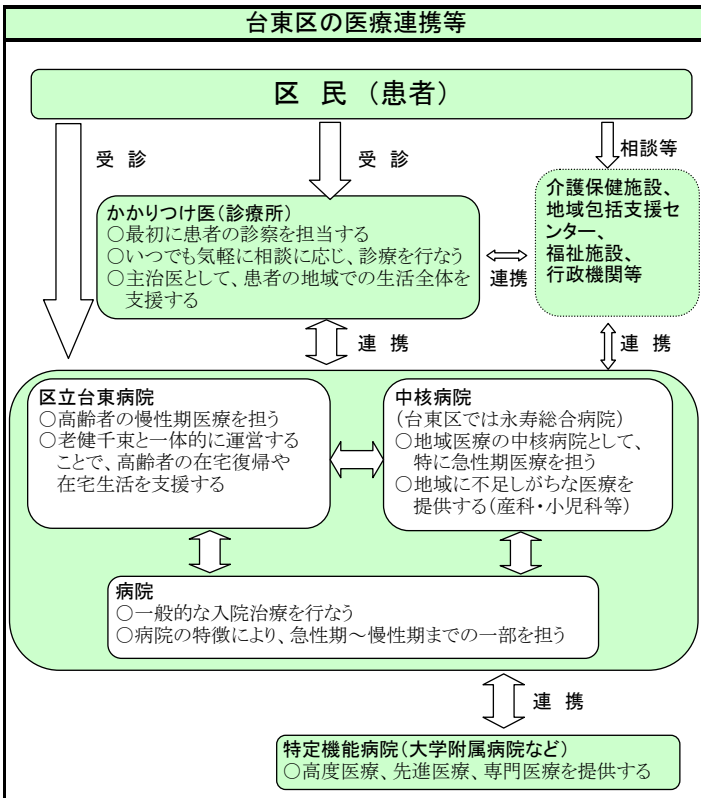
実施内容	
【区立台東病院】	【老人保健施設千束】
診療科目：内科、整形外科、リハビリテーション科、 眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科 病床数：120床（①療養病床80床（うち回復期リハビリテーション病棟40床）、②一般病床40床）	入所定員：150床（一般100床、認知症専門50床） 通所リハビリテーション：1日40人
【地域連携相談室（病院と老健の連携業務・相談業務及び在宅生活支援等を担う）】	
病院・老人保健施設の利用者からの相談や、医療機関・福祉サービスとの連携に加え、高齢者の日常生活の支援や介護に関することなど、さまざまな相談に応じる。高齢者が病気になっても在宅に戻るまで住み慣れた地域で安心して切れ目のないサービスを受けられるよう、総合的な連携・調整を行う。	
施設の基本理念（平成16年度に策定した新台東病院等整備基本計画より）	
<p>①高齢者が住み慣れた地域で療養できるよう、高齢者の慢性疾患に対応する病院と在宅復帰に必要な入所施設を一体的に確保します。</p> <p>②高齢者がいつまでも自分らしく、安心した在宅生活を送ることができるよう、保健・医療・福祉サービスを提供します。</p> <p>③高齢者が施設や在宅で必要な保健・医療・福祉サービスを円滑に利用できるよう、サービスの担い手の連携を積極的に推進します。</p> <p>④安心して子育てができるよう、医療の面から支援します。</p> <p>⑤快適な療養環境や質の高いサービスを効率的に提供します。</p> <p>⑥「運営の透明性」、「区民に対する説明責任」を確保し、上記の理念が適切に果たされていることを区民の視点に立って評価・検証します。</p>	

病院運営の基本方針(平成16年度に策定した新台東病院等整備基本計画より)

- ①総合医を中心としたチームによる医療を提供します。
- ②利用者本位で、満足度の高い医療を提供します。
- ③関係機関と連携を推進し、安心して在宅生活が送れるよう、医療を提供します。
- ④医療従事者の育成と資質の向上に努めます。
- ⑤区の小児初期救急医療のしきみを補完します。
- ⑥健全で安定的な経営基盤の確立を図ります。

老健運営の基本方針(平成16年度に策定した新台東病院等整備基本計画より)

- ①良質で包括的なサービスを提供します。
- ②利用者の人格及び意思を尊重し、快適で質の高い療養・介護環境を提供します。
- ③地域の福祉関連機関との連携のもと、円滑な在宅復帰を目指します。
- ④病院に併設されていることの利点を最大限に活かします。
- ⑤健全で安定的な経営基盤の確立を図ります。



2 運営事業者の運営理念等

区立台東病院等 運営理念(平成21年度運営事業者策定)

「ずっとこのまちで暮らし続けたい」を応援します

区立台東病院等 運営基本方針(平成21年度運営事業者策定)

- ①高齢者医療に力をいれます
- ②在宅医療を支援します
- ③まずは受け入れるという姿勢を持ちます
- ④地域と連携してサービスを提供します
- ⑤医療に恵まれない地域の支援を行います

3 事業の現況とその推移

(1) 経営の状況

(単位:千円)

区 分			21年度	22年度	23年度	増 減 23年度-22年度	備考	
事業 収 支 （ 病 院 ）	総 収 益	医業収益	886,535	1,388,112	1,426,447	38,334	入院収益、外来収益 等	
		医業外収益	448,470	309,706	151,963	△ 157,744	指定管理料、売店等事業収益 等	
		計	1,335,004	1,697,819	1,578,410	△ 119,409		
			(うち指定管理料)	407,239	224,259	104,973	△ 119,286	指定管理料(運営経費)
	総 費 用	医業費用	1,350,078	1,601,426	1,578,059	△ 23,368	給与費、材料費、委託費 等	
		医業外費用	34,971	35,712	38,000	2,289	売店等事業費用 等	
		計	1,385,049	1,637,138	1,616,059	△ 21,079		
	損 益	医業損益	△ 463,543	△ 213,314	△ 151,612	61,702		
		医業外損益	413,498	273,995	113,963	△ 160,032		
計		△ 50,045	60,681	△ 37,649	△ 98,330			
事業 収 支 （ 老 健 ）	総 収 益	事業収益	522,930	786,425	811,780	25,355	入所・通所リハ収益	
		事業外収益	118,281	6,585	5,499	△ 1,086	患者外給食収益 等	
		計	641,212	793,010	817,279	24,269		
			(うち指定管理料)	113,143	0	0	0	
	総 費 用	事業費用	644,403	729,502	747,059	17,557	給与費、材料費、委託費 等	
		事業外費用	8,560	4,134	3,243	△ 891	患者外給食委託費 等	
		計	652,962	733,636	750,302	16,666		
	損 益	事業損益	△ 121,472	56,923	64,721	7,798		
		事業外損益	109,722	2,451	2,256	△ 195		
計		△ 11,750	59,375	66,977	7,602			
事業 収 支 （ 合 計 ）	総 収 益	事業収益	1,409,465	2,174,537	2,238,227	63,689		
		事業外収益	566,751	316,291	157,462	△ 158,830		
		計	1,976,216	2,490,829	2,395,688	△ 95,141		
			(うち指定管理料)	520,382	224,259	104,973	△ 119,286	
	総 費 用	事業費用	1,994,481	2,330,928	2,325,118	△ 5,810		
		事業外費用	43,531	39,845	41,243	1,397		
		計	2,038,012	2,370,774	2,366,361	△ 4,413		
	損 益	事業損益	△ 585,015	△ 156,391	△ 86,891	69,500		
		事業外損益	523,220	276,446	116,219	△ 160,227		
計		△ 61,795	120,055	29,328	△ 90,728			

※端数処理をおこなっていないため、それぞれの合計が一致しない場合がある

- 【病院】 病院事業収益は15億7,841万余円、病院事業費用は16億1,605万余円であり、差し引き3,764万余円の純損失となった。なお、23年度協定に基づき、指定管理料(運営経費分)として区から指定管理者に1億497万余円を支払った。
- 【老健】 老健事業収益は8億1,727万余円、老健事業費用は7億5,030万余円であり、差し引き6,697万余円の純利益となった。なお、区から指定管理料(運営経費分)は支払っていない。
- 【その他】 上記収支に含まれていないが、
・平成23年度に地域医療振興協会で協議した結果、平成22年度に生じた純利益1億2,005万5千円を台東区に返還した。(平成23年度に臨時費用として処理)

(2) 運営の状況

① 役割・機能

区分		21年度	22年度	23年度	増減 23年度-22年度	備考	
病院に関する指標	体制	年度末職員数					
		常勤医師数	11人	12人	9人	△3人	年度末職員数は、 3月1日現在の職員数
		非常勤医師(常勤換算)	5.5人	5.0人	5.1人	0.1人	
		(再掲)総合医数	6人	6人	5人	△1人	
		看護・介護部門	74.0人	86.0人	85.0人	△1.0人	
	リハビリ部門	13.0人	17.0人	20.0人	3.0人		
	入院	病床利用率	61.6%	84.5%	82.8%	△1.7%	病床利用率=(入院延患者数 /延病床数)*100
		一般病床(40床)	66.9%	83.1%	79.6%	△3.5%	
		療養病床(40床)	63.4%	82.7%	86.8%	4.1%	
		回復期リハ(40床)	54.5%	87.7%	81.9%	△5.8%	
	入院	新入院患者数	897人	946人	848人	△98人	1年の間に新たに入院された患者数
		一般病床	571人	711人	656人	△55人	
		療養病床	144人	82人	56人	△26人	
		回復期リハ	182人	153人	136人	△17人	
	平均在院日数	平均在院日数	32.0日	39.0日	42.8日	3.8日	平均在院日数=延入院患者数 ÷(新入院患者数+退院患者数)/2
		一般病床	17.7日	17.8日	18.7日	0.9日	
		療養病床	73.2日	121.3日	160.9日	39.6日	
		回復期リハ	48.5日	76.7日	80.2日	3.5日	
	台東区民の占める割合	台東区民の占める割合	73.1%	83.5%	86.9%	3.4%	
		年齢区分(%)					
		59歳以下	13.7%	9.5%	5.4%	△4.1%	
		60歳~69歳	14.7%	15.8%	10.6%	△5.2%	
		70歳~79歳	28.0%	27.4%	28.9%	1.5%	
		80歳~89歳	30.5%	32.3%	37.5%	5.2%	
	回復期病床	回復期病床					
		在宅復帰率	73.0%	73.7%	84.1%	10.4%	
	外来	1日平均患者数	94.2人	158.7人	177.0人	18.3人	延患者数/外来診療日数(295日)
新来患者数		6,852人	9,926人	5,372人	△4,554人	初めて来院した患者の実数	
新患率		24.8%	21.3%	10.3%	△11.0%	新来患者数/延患者数*100	
台東区民の占める割合		87.4%	88.4%	87.9%	△0.5%		
救急患者数		773人	751人	693人	△58人		
救急車 独歩		233人 540人	298人 453人	204人 489人	△94人 36人		
老健に関する指標	体制	年度末職員数					
		医師数	2人	2人	2人	0人	
		介護・(看護)部門	72.0人	72.0人	69.0人	△3.0人	
		リハビリスタッフ	7.0人	7.0人	9.0人	2.0人	
	入所	入所利用率(150床)	63.0%	91.0%	91.4%	0.4%	(入所延患者数/延ベッド数)*100
		入所のうち、短期利用者数(1日)	2.5人	5.2人	5.9人	0.7人	
		在所日数(短期入所を除く)	152.9日	275.0日	294.1日	19.1日	年度末在所者における在所日数の平均
		台東区民の占める割合	96.8%	95.5%	99.9%	4.4%	
		年齢区分(%)					
		65歳~69歳	1.0%	2.0%	2.0%	0.0%	
		70歳~74歳	5.0%	4.0%	4.0%	0.0%	
		75歳~79歳	13.0%	13.0%	11.0%	△2.0%	
		80歳~84歳	16.0%	18.0%	17.0%	△1.0%	
		85歳~89歳	27.0%	26.0%	23.0%	△3.0%	
		90歳以上	38.0%	35.0%	40.0%	5.0%	
在宅復帰率	42.0%	27.0%	24.2%	△2.8%	退所後に自宅に帰られた利用者の率		
通所	1日あたり利用者(定員40人)	21.9人	30.6人	34.2人	3.7人	延利用者数/運営日数(314日)	
台東区民の占める割合	100.0%	99.5%	100.0%	0.5%			

区 分		21年度	22年度	23年度	増 減 23年度-22年度	備考			
連 携 等 に 関 す る 指 標	体 制	地域連携相談室職員数	8.0人	10.0人	10.0人	0.0人			
		ソーシャルワーカー	3.0人	4.0人	4.0人	0.0人			
		支援相談員	2.0人	2.0人	2.0人	0.0人			
		介護支援専門員	2.0人	2.0人	2.0人	0.0人			
		事務員	1.0人	2.0人	2.0人	0.0人			
	医 療 連 携	紹 介 状 持 参 患 者 数	入 院	一般		272人	284人	12人	医師による文書の紹介状(診療 情報提供書)を持参した患者数 (検査依頼を除く)
				療養		54人	55人	1人	
			回復期		112人	134人	22人		
			(再掲)診療所から		138人	120人	△18人		
			合計	340人	438人	473人	35人		
		外 来	病院から		294人	360人	66人		
			診療所から		316人	306人	△10人		
			施設から		29人	39人	10人		
			合計	487人	639人	705人	66人		
			緊急一時病床利用実数(3床)	53人	120人	110人	△10人		
	病 院)	診 療 情 報 提 供 書 を 発 行 し た 患 者 数	入 院	一般		160人	177人	17人	診療情報提供料を算定した患 者の実人員数
				療養		44人	48人	4人	
				回復期		96人	122人	26人	
				(再掲)診療所へ		129人	137人	8人	
			合計	159人	300人	347人	47人		
		外 来	病院へ		502人	665人	163人		
			診療所へ		104人	119人	15人		
			施設へ		4人	4人	0人		
宛名なし等				40人	66人	26人			
合計			726人	650人	854人	204人			
返 送 患 者 数	入 院	一般		68人	78人	10人	診療情報提供書を持参した患 者のうち紹介元医療機関等に 返送した入院患者の数		
		療養		7人	8人	1人			
		回復期		33人	40人	7人			
		(再掲)診療所へ		71人	77人	6人			
		合計	79人	108人	126人	18人			
入 退 所 経 路 (老 健)	入 所 前 の 居 所	自宅	116人	55人	68人	13人			
		福祉施設等	40人	16人	17人	1人			
		台東病院	73人	60人	50人	△10人			
		他の病院	42人	49人	32人	△17人			
		退所後の行き先							
	自 宅	自宅	60人	47人	44人	△3人			
		福祉施設等	18人	60人	62人	2人			
		台東病院	52人	35人	44人	9人			
		他の病院	7人	10人	6人	△4人			
		死亡	6人	22人	26人	4人			
相 談 件 数	入院相談(一般)	122件	508件	1,260件	752件	地域連携相談室で受けた、入 院相談(病床区分は主たる相談 内容により振り分け、二重に計 上していない)と入所・通所相談 の件数			
	入院相談(療養)	225件	289件	220件	△69件				
	入院相談(回復期)	210件	302件	300件	△2件				
	入所相談	408件	284件	296件	12件				
	通所相談	168件	76件	78件	2件				
	調整機能						退院時に患者・家族以外の地域のかかり つけ医・ケアマネ等も含めた多職種間 での検討会を実施した件数		
退院時院外カンファ実施件数	44件	61件	57件	△4件					
リ ハ ビ リ 機 能	訪問リハ延利用者数	実施なし	14人	736人	722人	平成23年2月より実施			
	在宅リハ利用者数	実施なし	2人	4人	2人	平成22年10月より実施			

②経営分析

区 分		21年度	22年度	23年度	増 減 23年度-22年度	備考
病 院	経常収支比率	96.4%	103.7%	97.7%	△6.0%	(総収益／総費用)＊100
	総費用に対する指定管理料比率	29.4%	13.7%	6.5%	△7.2%	(指定管理料／総費用)＊100
	医業収益に対する職員給与費比率	104.5%	81.8%	79.4%	△2.4%	(職員給与費／医業収益)＊100
	医業収益に対する委託費比率	8.8%	7.2%	6.8%	△0.4%	(委託費／医業収益)＊100
	医業収益に対する材料費比率	18.3%	11.0%	9.8%	△1.2%	(材料費／医業収益)＊100
	病床利用率	61.6%	84.5%	82.8%	△1.7%	(入院延患者数／延病床数)＊100
	1日外来患者数	94.2人	158.7人	177.0人	18.3人	延患者数／外来診療日数(295日)
	入院患者1人1日当たり診療収入	23,248円	25,937円	26,564円	627円	入院収益／入院延患者数
	外来患者1人1日当たり診療収入	6,586円	6,268円	6,075円	△193円	外来収益／外来延患者数
	医師1人1日当たり診療収入	146,617円	186,727円	251,865円	65,138円	(入院収益＋外来収益)／(年延 医師(看護部門職員)数)
	看護部門1人1日当たり診療収入	31,669円	40,780円	35,709円	△5,071円	
	高額医療機器撮影件数					
CT	1,500件	1,744件	1748件	4件	【参考:稼働率】(撮影件数／(1日あたり 平均撮影可能件数(CT12件、MRI12 件)＊外来診療日数))＊100	
MRI	867件	1,118件	1048件	△70件		
【参考】CT稼働率	46.7%	54.1%	54.2%	0.1%		
【参考】MRI稼働率	27.0%	34.7%	32.5%	△2.2%		
他院検査依頼件数(上記の再掲)						
CT	67件	107件	106件	△1件		
MRI	130件	186件	237件	51件		
老 健	事業収支比率	98.2%	108.1%	108.9%	0.8%	(総収益／総費用)＊100
	総費用に対する指定管理料比率	17.3%	0.0%	0.0%	0.0%	(指定管理料／総費用)＊100
	事業収益に対する職員給与費比率	87.0%	60.1%	59.5%	△0.5%	(職員給与費／事業収益)＊100
	事業収益に対する委託費比率	17.9%	16.7%	16.2%	△0.6%	(委託費／事業収益)＊100
	入所利用率	63.0%	91.0%	91.4%	0.4%	(入所延患者数／延ベッド数)＊100
	1日通所利用者数	21.9人	30.6人	34.2人	3.6人	延利用者数／運営日数(314日)
	入所利用者1人1日当たり事業収益	13,224円	13,727円	13,905円	178円	入所収益／入所延患者数
通所利用者1人1日当たり事業収益	10,390円	10,798円	10,641円	△156円	通所収益／通所延患者数	

③計画性・改善状況等

区 分		21年度	22年度	23年度	増 減 23年度-22年度	備考
区 分	区民向け講演会等実施件数					
	待合健康教室	1件	13件	12件	△1件	
	その他区民向け講演会等	3件	4件	3件	△1件	
	意見箱投書件数	43件	53件	38件	△15件	
	苦情	19件	24件	8件	△16件	
	助言	16件	13件	17件	4件	
	謝意	8件	16件	13件	△3件	
患者書 ア・ ン意 ケ見 等 トの 結指 果摘 概事 要項	①苦情	<p>今日は最悪の日でした。受付が悪くてひどい早口で自分だけ喋って、相手に思いやる心が欠けているスタッフの方がおりました。冷たい目で見ても早口で喋るのはやめてください。 →ご不快な思いをされたこと、大変申し訳ございませんでした。今後、接遇を十分に行えるよう、スタッフ一同で改善してまいります。</p>				
	②助言	<p>レントゲン撮影の前の着替え部屋に手すりがあると助かります。(腰が痛かったので、少し手間を取りました) →ご迷惑をお掛けしました。手すりを設置するよう手配を致しました。</p>				
	③謝意	<p>4Fのリハビリ病棟に母がいる時、本当に先生・看護師長さんはじめスタッフの皆様お一人お一人に良くして頂きありがとうございました。対応の良さ、母が心細く不安を抱いているのを取り除くようにいつも声掛けして下さり、皆で和やかな雰囲気を作って下さり、母も元気になりました。家族として本当に感謝をしています。スタッフの皆様にお礼を申し上げます。台東病院に入院をして本当に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。</p>				

④その他

<p>○居宅支援事業所千束（自主事業） 関係機関と連携しながら「治療から介護へ」「施設ケアから在宅ケアへ」とサービスを提供する上で、より迅速に質の高いサービスを提供するため、居宅支援事業の運営を平成23年12月より開始した。ケアマネジャー（介護支援専門員）1名を常勤配置、平成24年3月末現在の登録者は8名である。</p>

4 評価

評価の段階

A	目的・要求等を十分に満たしている状態
B	目的・要求等を概ね満たしている状態
C	目的・要求等に対し補う必要がある状態

(1) 役割・機能に対する評価

① 台東病院の役割・機能に対する評価

(1)-①-1 慢性期医療を担う拠点病院として機能しているか (医療連携については、(1)-③-1で評価します)	
【主な参考指標】 利用者数・平均在院日数・年齢区分等(4ページ)	
事業者 (自己) 評価	A 根拠 診療所において在宅医療を受けている方が、紹介入院された場合、高額の手術や医薬品を使用するのではなく、医師、看護師、リハビリスタッフなどが連携しながら対応し、7割程度が在宅に復帰している。また、入院患者に占める70歳以上の割合も8割を超え、慢性期医療の中核病院としての機能を発揮している。
運営 協議会 評価	A 根拠 <ul style="list-style-type: none"> 入院部門については、診療所等からの紹介患者を中心に、在宅に戻していることが伺え、慢性期医療の拠点病院としての役割を果たしていると評価できる。 入院患者の年齢区分は、70歳以上が80%を超えており慢性疾患に対応していると評価できる。 外来部門については、前年度と比べて利用者数は増加しているが、診療所からの紹介患者数は変化がないため、台東病院の役割・機能について、他の医療機関等に対して広報することを一層取り組まれたい。

② 老人保健施設千束の役割・機能に対する評価

(1)-②-1 円滑な在宅復帰に向けた入所施設として機能しているか (地域との連携については、(1)-③-1で評価します)	
【主な参考指標】 利用者数・在所日数・在宅復帰率等(5ページ)	
事業者 (自己) 評価	A 根拠 入所、通所ともに利用者数が増加し(入所:利用率91.4%、対前年度比+0.4ポイント 通所:一日当たり34.2人、対前年度比+3.7人)、多くの方に利用いただいている。 在所日数は伸びているが(平均在所日数294日、対前年度比+19日)、退所前には地域連携相談室が中心となり、退所前カンファレンスの開催を調整し、家族や関係機関の方々と連携をとりながら退所支援等を行っている。
運営 協議会 評価	A 根拠 <ul style="list-style-type: none"> 病院と併設している難しさがあり在所日数は増加傾向にあるが、利用者は年々増えており、円滑な在宅復帰に向けた施設として機能している。 また、近隣地域に老人保健施設が少ない中、150床は地域の貴重な資源である。(千代田区、中央区、港区、文京区、台東区の区中央部医療圏では合計8施設、789床。台東区は2施設、250床)

③切れ目のないサービスの連携・調整機能に関する評価

(1)－③－1 医療機関等との連携は適切におこなわれているか		
【主な参考指標】 医療連携(病院)等(6ページ)		
事業者 (自己) 評価	A	根拠 退院前カンファレンスや医師と連携担当者の会の実施などに加え、23年度より、認知症勉強会や吸引研修会を開始し、地域との連携強化に一層取り組んでいる。
運営 協議会 評価	B	根拠 <ul style="list-style-type: none"> 診療所のかかりつけ医との役割分担を意識しながら外来診療にあたっている医師が、総合診療科の常勤医を中心に増えており、評価できる。(診療情報提供書を発行した患者数650→854人) ただし、診療所からの紹介入院患者が退院する際(老健千束への移動・他病院・施設等への転院を含む)、紹介元への退院報告等がないケースが見受けられる。利用者が在宅復帰後も継続したケアを円滑に受けるためには、関係機関間で医療情報等をシームレスに共有していく必要がある。地域連携室が中心となり、関係機関との連携の取り方において業務をシステム化していくことが望まれる。 急性期医療の中核病院である永寿総合病院などとの病病連携については、病院間での連絡会において、それぞれの病院の医療機能やリハビリテーションにおける役割分担に関する事項について、検討、情報共有を一層強化し、医療と介護の連携についても各病院の医療連携室のMSWを含めた連絡会で検討することが望まれる。

(1)－③－2 台東病院と老人保健施設が連携しながら、互いの機能を効果的に発揮しているか		
【主な参考指標】 入退所経路(老健)等(6ページ)		
事業者 (自己) 評価	A	根拠 病院・老健利用者間移動は、病院→老健が50人 老健→病院が44人であり、病院と老健がお互いの機能を補完しながら、入院患者及び入所者に対し、複合施設の利点を活かした安心感のあるサービスの提供ができています。
運営 協議会 評価	A	根拠 <ul style="list-style-type: none"> 利用者が安心して切れ目のないサービスを受けられるよう、医療系のサービスから介護系のサービスに移った後にも、病院側の理学療法士や地域連携相談室の相談員などが老健側のスタッフとも連携しながら業務に取り組んでおり、併設施設としてメリットを活かしていると評価できる。

(1)－③－3 退院・退所後も、家族等の支援や在宅でのリハビリテーションの支援等により、在宅生活を支援しているか		
【主な参考指標】 リハビリ機能・調整機能等(6ページ)		
事業者 (自己) 評価	B	根拠 訪問リハビリ事業の実績が増加した(延利用者数736人、前年度比+722人)。また、居宅介護支援事業も新たにスタートでき、今後の退院退所後の支援にも大きく貢献できると考えている。
運営 協議会 評価	B	根拠 <ul style="list-style-type: none"> 台東病院及び老健千束を退院・退所した後の支援として、訪問リハビリテーションや居宅支援事業所を開始し、利用者数も増加しており評価できる。 訪問リハビリテーション事業所は地域に多いとは言えないため、今後、業務の範囲を広げ、診療所等からの紹介も受けられる体制を構築し、区内全体に台東病院で提供している訪問リハビリ事業を周知していくことが望まれる。

(2) 効率性・経済性に対する評価

① 台東病院の効率性・経済性に対する評価

(2)－①－1 区から提供された施設・機器等を効率的に活用しているか		
【主な参考指標】 経営分析等(7ページ)		
事業者 (自己) 評価	B	根拠 各種研修会、地域連携、院内コンサート等で施設を効率的に利用できた。 高額医療検査機器(CT・MRI等)の共同利用実績は稼働率が半分程度である点が課題である。
運営 協議会 評価	B	根拠 <ul style="list-style-type: none"> 高額医療機器の共同利用については、他施設からの検査依頼に対する返答までの時間や緊急を要する場合の返答時間が短縮傾向にあり評価できる。 今後は、地域の診療所に対して、検査予約までの流れ、開設時よりも返答までの時間が短縮されたこと、及び放射線科の専門医の所見とともにCD等でデータを提供できること等を広報することで、利用者数の増加を図りたい。

(2)－①－2 事業運営の効率性は発揮されているか		
【主な参考指標】 経営の状況、経営分析等(3、7ページ)		
事業者 (自己) 評価	B	根拠 昨年度に比べ、経営状況は改善された。ただ、人件費率はまだ7割を超えており、引き続き、収入増加に向けての取り組み及び適正な人員配置について検討していく必要がある。
運営 協議会 評価	B	根拠 <ul style="list-style-type: none"> 人件費率は、79.7%と低下(前年度対比△2.4ポイント)しているが、厚生労働省調査によると100床以上199床以下のケアミックス型病院の人件費率の平均は医療法人が57.8%、自治体病院が67.8%であり、台東病院の人件費率は高くなっている。今後、サービスの向上や利用者の確保に努めながら、収益を増加させることで、人件費率を低下させることが望まれる。(病床利用率は前年度と比較して低下している。)

② 老人保健施設千束の効率性・経済性に対する評価

(2)－②－1 区から提供された施設等を効率的に活用しているか。		
【主な参考指標】 利用者数・経営分析等(5、7ページ)		
事業者 (自己) 評価	A	根拠 屋上リハビリ庭園での作物の栽培、入口エントランスでのコンサート、各階食堂でのイベント食等、施設を有効に利用しながら、サービス提供ができ、利用者に好評を得ている。
運営 協議会 評価	A	根拠 <ul style="list-style-type: none"> 事業者評価のとおり、効率的に様々な目的で利用していると評価できる。

(2)－②－2 事業運営の効率性は発揮されているか		
【主な参考指標】 経営の状況、経営分析等(3、7ページ)		
事業者 (自己) 評価	A	根拠 入所利用率91.4%(対前年度比+0.4ポイント)、通所一日あたり利用者34.2人(対前年度比+3.7人)に達し、収支も改善した。
運営 協議会 評価	A	根拠 <ul style="list-style-type: none"> 事業収支比率が108.1%となり、前年度に比べて0.8ポイント改善した。今後とも、在所日数等を注視し、引き続き、適正な運営をされたい。

(3) 計画性・改善状況等に関する評価

(3)－① 前年度の運営協議会の意見を運営に活かしているか		
【主な参考指標】 平成23年度 台東区立台東病院及び老人保健施設千束運営評価表		
事業者 (自己) 評価	B	根拠 運営協議会からのご意見を運営に活かしていけるよう努力をしており、病院・老健の利用者へのサービスや地域との連携機能の向上などのために、意見を取り入れている。 しかしながら、高額医療機器の利用率の向上等、課題が残っている。
運営 協議会 評価	B	根拠 <ul style="list-style-type: none"> 平成22年度に開始した訪問リハビリテーションの利用者数が増え、また、平成23年度より居宅支援事業を開始するなど在宅生活支援のためのサービスを充実していると評価できる。 「共同利用実績を増加させることで高額医療機器の稼働率を上げる必要がある点」、「在宅医療の後方支援病院としてのあり方等、台東病院の担うべき役割・機能について、区とともに具体的なあり方を改めて検討する必要がある点」等、課題が残っている。

(3)－② 利用者や区民の意見を取り入れ、運営に活かしているか		
【主な参考指標】 意見箱投書件数等(8ページ)		
事業者 (自己) 評価	A	根拠 皆様の声等にいただいた意見は、幹部会議等で議論したのち、職員に周知し、改善に努めている。地域連携相談室や各病棟においても患者利用者さんやその家族と顔の見える関係構築に努め、いろいろなご相談に応じることのできる体制をとっている。地域の催し等にも積極的に参加し、皆様の声をうかがうなどして、利用者や区民の意見を取り入れている。
運営 協議会 評価	A	根拠 <ul style="list-style-type: none"> 事業者評価のとおり、利用者等の意見を取り入れ、運営に活かす体制が整備されていると評価できる。

(3)－③ 区立病院・施設だからこそできる役割を果たしているか		
【主な参考指標】 区民向け講演会等実施件数等(8ページ)		
事業者 (自己) 評価	A	根拠 待合健康教室の開催(毎月)、区民への健診サービスの実施(台東区健康まつりに参加)、看護職員再就職説明会の実施(2回)、認知症勉強会の実施、地域の医療介護施設の研修会等、区民の方々のための事業を実施し、区立病院・施設としての役割を果たしている。
運営 協議会 評価	B	根拠 <ul style="list-style-type: none"> 健康教室や健康相談等、区民の日頃からの健康づくり支援に向けた取組みは評価できる。 医療機関向けの事業として認知症勉強会などの取組みを開始しているが、地域のケア体制の向上を図るために、より一層医療・介護関係機関等と連携しながら様々な事業に取り組まれない。

(3)－④ 計画性を持って運営しているか		
事業者 (自己) 評価	A	根拠 台東病院・老健千束の役割・機能や台東病院の運営方針について、新任研修会、各種研修会、掲示等で周知し、また、経営情報や経営目標を毎月に職員に周知することで、計画性を持って病院・施設を運営している。
運営 協議会 評価	A	根拠 <ul style="list-style-type: none"> 事業計画や運営実績を、各種研修、毎月の経営会議、各部門・病棟の朝礼などで各部門に周知しており、さらに、医師も含めた多職種によるワークショップを開催し、病院等の目指す方向性についてディスカッションすることで、職員自ら運営に参画していく取り組みを始めており、評価できる。

5 総合評価

1. 役割・機能について

台東病院の入院部門については、高齢者の占める割合が高く、また、診療所からの紹介患者を中心に、在宅に戻していることが伺え、慢性期医療の中核病院としての役割を果たしていると評価できる。ただし、前年度と比較して、平均在院日数が伸びているにも関わらず、病床利用率が低下しているため、より多くの区民が利用できるよう運営することを期待する。

外来部門については、診療所との役割分担を意識しながら診療にあたっている医師が増えており、評価できる。ただし、前年度と比較して、診療所からの紹介患者数が増えていないため、台東病院の役割・機能について、他の医療機関に広報することをより一層取り組まれない。

老人保健施設千束については、病院と併設していることから医療依存度が高い方の割合が高いこともあり、在所日数は増加傾向にあるが、他の老人保健施設と比べると短くなっているため、在宅復帰に向けた施設として機能していると評価できる。今後とも、入所が必要な区民が等しくサービスを受けられるよう、在所日数や在宅復帰率等に注視しながら運営をされたい。

連携・調整機能については、利用者が在宅復帰後も継続したケアを円滑に受けられるよう、地域連携相談室が中心となり、関係機関との連携の取り方において業務をシステム化していく必要がある。また、病院等を退院した後の在宅生活を支援するため、訪問リハビリテーション事業の業務の範囲を広げ、診療所等からの紹介も受けられる体制を構築することが望まれる。

2. 効率性・経済性について

台東病院については、同規模・同機能の他病院と比較して、人件費率が高くなっている。今後、病床利用率を向上すること、訪問リハビリテーション等の在宅生活を支援する機能を強化すること、外来部門において慢性期医療を行っている診療所をサポートする機能を強化することなどに取り組み、収益を増加させることで、人件費率を低下させる必要がある。

また、高額医療機器の稼働率が低いため、地域の診療所に対して、検査予約までの流れや開設時よりも返答までの時間が短縮されたことなどを広報することで、共同利用実績を増加していく必要がある。

老人保健施設千束については、入所利用率は高く、多くの方が利用していると評価できる。今後とも本当に入所が必要な区民が等しくサービスを受けられるよう、在所日数等を注視し、引き続き、適正な運営をされたい。

3. 計画性・改善状況・その他について

運営協議会の意見や患者の意見箱等を活用しながら、改善に取り組んでおり、特に、平成22年度に開始した訪問リハビリテーション事業の利用者が増え、また、居宅支援事業を開始するなど在宅生活支援のためのサービスを充実していることは評価できる。

「共同利用実績を増加させることで高額医療機器の稼働率を上げる必要がある点」、「在宅医療の後方支援病院としてのあり方等、台東病院の担うべき役割・機能について、区とともに具体的なあり方を改めて検討する必要がある点」、「医療・介護関係機関等と連携しながら様々な事業に取り組む必要がある点」などが今後の課題として挙げられる。